

■【トピックス】
3人の大統領！



フランスの大統領選挙は、決選投票で39歳のマクロン氏が勝利しました。これにより株式市場も上昇に転じました。また、隣国の韓国では、北朝鮮との緊張が高まる中、リベラル派で親北といわれる文氏が大統領に当選しました。

そんな中、米国ではトランプ大統領がFBI長官を解任したことにより株式市場が下落しました。国際情勢の変化を即座に金融市場が反映します。そんな時代にわれわれは生きています。

■【ビジネス・アイ】
オピニオン・ショッピング！

社長 「東芝が監査法人との溝が埋まらないので、違う監査法人に替えるといったけど、断念したというニュースがあったね」

花野 「そうですね。監査法人が第3四半期に意見不表明という意見を表明しましたので、このままでは本決算も意見不表明となる可能性が高いため違う監査法人を探してみたいですね」

社長 「そうなんだ。その意見不表明とかいうのは、監査法人のお墨付きにはならないんだ」

花野 「監査法人が不適正か意見不表明という意見を表明すると、その決算は信用できないことになります。そのため、これらが表明された場合には、上場会社は上場を取り消されるんですよ」

社長 「へえ～。それなら監査法人を替えて、お墨付きをもらえばいいと考えるのも分かるね。でも代わりが見つからなかったということだね」

花野 「今、監査の世界はグローバル化が進んでいて、基本的に監査法人を替えても意見が変わることはありません。もし変わるようなことがあれば、それは大問題になりますね」

社長 「そうなんだ。東芝の経営陣がそんなことも分からなくなっているんだね」

花野 「そうですね。業界用語で監査人を替えて、自らの望む意見に変えるところを“オピニオン・ショッピング”というんですよ」

社長 「“オピニオン・ショッピング”ってそんな言葉があるんだ！」

■【今月のキーワード】
オピニオン・ショッピング

財務諸表に対する監査人の意見が、そのままでは企業の意に副わない場合に、企業の望む意見を出す監査人に交代させることをオピニオン・ショッピング (Opinion Shopping) といいます。上場会社の場合、不適正意見や意見不表明を監査人が表明すると上場取消になります。ただ、現在の監査は、どこの監査法人が行っても世界基準の品質管理・監査基準で行われているため、監査意見が監査法人によって異なることは、特に上場会社を監査するような監査法人では考えられません。

■【今月の1冊】
『経済は地理から学べ』
宮路 秀作 著
ダイヤモンド社 ¥1500

そこに存在する地形や気候により、人々の営みは独自に発達してきました。経済も然りです。

この本では基本的な地理の知識はもとより、地理における4つの距離のうちの「経済距離」にも焦点を当てて世界の各国地域の経済について解説しています。経済発展の必然に地理があります。この本は世界経済を論じていますが、日本にも適用できますね。



■【編集後記】

繁忙期の最中、体調を崩し39度を超える熱を出してしまい、丸一日寝込んでしまいました。ここ10年以上、高熱を出したことがなかったので驚きました。それにしても年を取ったせいかな、寒暖を感じる感覚が少し鈍くなってきたように感じます。

『経営のセカンド・オピニオン』vol.123（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2017.6.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルチビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>